

駿河台

ビジネス

講座コード

16210024

製品と機械のリスクアセスメント

ジャンル

経営・マネジメント

講義レベル

基本～応用

製品安全と機械安全について、主にリスクアセスメントの面から講義を行います。まず、製品安全の概念について学習した後、技術、ヒューマンファクタ、社会規範・法制度、等を通じて、具体的な事例を基に、製品安全における消費者の権利、誤使用事故防止、製品のリスクアセスメントなど、多面的に製品の安全確保の方策を紹介します。次に、機械安全の立場から、安全な機械を使って安全に作業すること、すなわち、安全な機械を設計して、安全な生産ラインを構築し、安全な職場で作業することを論じます。

本講座は、機械の包括的安全基準や国際安全基準の理解、リスクアセスメント、リスク管理、リスク評価、制御安全の考え方等、製品安全、機械安全の基礎と素養を得ることを目的としています。

講義概要

曜日	土曜日
時間	13:00～14:30 14:40～16:10
定員	40名
会場	駿河台キャンパス
回数	16回(8日間)
受講料	一般:32,000円 法人:25,600円 学生:16,000円
教材	レジュメ資料
ポイント	★★★

日程	内容	講師
1	9/24 (土) 安全設計の基礎概念 製品安全について、安全学の視点から幅広く、その特徴と課題等について考察する。	向殿
2		
3	10/8 (土) 製品安全の基本 リスク低減の順位・方法、組織のあり方、誤使用はいかにしたらなくなるのかを考える。	長田
4		
5	10/22 (土) 製品のリスクアセスメント リスクアセスメント手法としてのR-Map(リスクマップ)について理解する。	松本
6		
7	11/5 (土) 製品安全における安全管理と安全確保 安全管理はどのように行われるのかを現在の法制度とともに考える。	高杉
8		
9	11/19 (土) 国際規格による機械安全のグローバル化 機械安全に関わる国際規格体系とその特徴について解説する。	福田
10		
11	12/3 (土) 機械安全における安全管理と安全確保 労働安全分野を対象とした新たなリスクアセスメント手法と保護方策のあり方を提案する。	梅崎
12		
13	12/17 (土) 生産現場における安全活動実践論 「安全活動は企業体質を強化する有効な手段」につながるという実践事例を中心に解説する。	古澤
14		
15	1/14 (土) 安全文化としての製品安全と機械安全 歴史的観点も含めて、安全確保とリスクアセスメントの考え方について解説する。	鞍田
16		

講師紹介



むかいどの まさお
向殿 政男
コーディネーター
明治大学名誉教授
明治大学校友会長



ながた さとし
長田 敏
製品評価技術基盤機構



まつもと こうじ
松本 浩二
製品安全コンサルタント



たかすぎ かずのり
高杉 和徳
製品安全コンサルタント



ふくだ たかぶみ
福田 隆文
長岡技術科学大学教授



うめざき しげお
梅崎 重夫
独立行政法人労働安全衛生総合研究所



ふるさわ のほる
古澤 登
安全と人づくりサポート代表



くらた たかし
鞍田 崇
明治大学理工学研究科
新領域創造専攻准教授